

みずほCustomer Desk Report 2022/08/04 号 (As of 2022/08/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	133.77
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	133.34	1.0158	135.43	1.2154	0.6891
SYD-NY High	134.55	1.0212	136.41	1.2207	0.6954
SYD-NY Low	132.30	1.0123	134.85	1.2100	0.6887
NY 5:00 PM	133.85	1.0167	136.14	1.2148	0.6952
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,812.50	416.33	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%
NASDAQ	12,668.16	319.40	日本10年債	0.1900%	0.0200%
S&P	4,155.17	63.98	米国2年債	3.0682%	0.0062%
日経平均	27,741.90	147.17	米国5年債	2.8277%	▲0.0288%
TOPIX	1,930.77	5.28	米国10年債	2.7055%	▲0.0419%
シカゴ日経先物	27,995.00	230.00	独10年債	0.8715%	0.0920%
ロンドンFT	7,445.68	36.57	英10年債	1.9070%	0.0410%
DAX	13,587.56	138.36	豪10年債	3.0970%	0.0650%
ハンセン指数	19,767.09	77.88	USDJPY 1M Vol	11.72%	▲0.13%
上海総合	3,163.67	▲ 22.59	USDJPY 3M Vol	11.01%	0.05%
NY金	1,765.29	4.90	USDJPY 6M Vol	10.41%	0.07%
WTI	90.66	▲ 3.76	USDJPY 1M 25RR	▲0.65%	Yen Call Over
CRB指数	281.72	▲ 1.98	EURJPY 3M Vol	12.51%	▲0.01%
ドルインデックス	106.51	0.27	EURJPY 6M Vol	12.08%	0.07%

東京	東京時間のドル円は133.34レベルでオープン。序盤は、アジア株高を背景に133.89まで上昇。正午前、中国軍の演習における台湾領内侵入など中台間の緊張の高まりを伝えるニュースが報じられると、ドル円は一時132.30まで急落した。一巡後は133.41まで反発し、133.13レベルで海外へ渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は133.13レベルでオープン。ペロシ米下院議長の台湾訪問を終え、リスク回避に買われていた円が一服しドル買い優勢。一時は133.54まで上昇するも、133.47レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場で昨日買われたドルが売り戻される展開に132.30まで反落したドル円は、その後はクロス円の上昇に下値をサポートされ133.47レベルでNYオープン。朝方はOPECプラスが9月の日量10万バレルの増産に合意したことが発表されるが、今のレベルの増産も追いついていないこともあり、ドル円の反応は限定的となり狭いレンジでの推移が暫く続くが、10時に発表された米7月ISMサービス業景況指数が56.7と予想と前回分を上回ったことから134.55まで上昇する。その後はデーリーSF連銀総裁の「市場の来年の利下げを先を急ぎ過ぎている」等効派な発言があり、ドル円は高値圏での推移が暫く続く。午後はハ派で知られるカシカ・ミネアポリス連銀総裁の「来年の利下げはほとんどないシナリオだろう」とハ派には聞こえない発言も伝わり、ドル円の134円ちょうど付近での推移が続き、133.85レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが優勢となったことや、リスク回避の動きがやや後退したことからその後ユーロ円が上昇する動きに1.0212まで戻し、1.0184レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続いたが、米ISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに1.0123まで反落する。午後は堅調な米株式市場が更に上昇する動きを受け1.0174までサポートされ、1.0167レベルでクロスした。

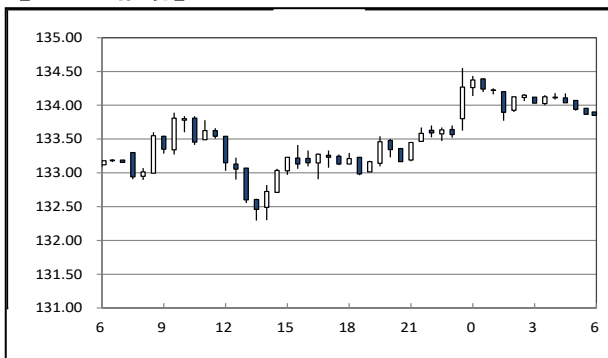
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月3日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	6月 1.1%/35.8%	1%/35.7%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	6月 -1.2%	0.0%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	6月 2%/1.4%	1.2%/
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	6月 0.4%	0.3%

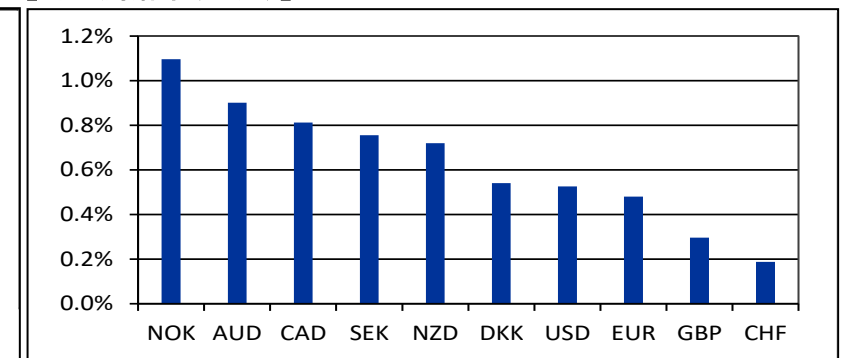
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月4日	10:30	豪 貿易収支	6月 A\$14000m	A\$15965m
	20:00	英 金融政策決定会合	- 1.75%	1.25%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$80.0b	-\$85.5b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	30-Jul 260k	256k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.30-134.70	1.0100-1.0200	135.40-137.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は、上下動ありつつも最終的に値を上げる展開。アジア時間は、前日の米国FRB高官からのタカ派的な発言の流れを受け、133円台からじりじりと上昇。その後、ペロシ米下院議長の台湾訪問および台湾国防部の領土主権を侵す行動への対抗措置という報道等から、改めて地政学リスク懸念が再燃し、132円台半ばまで急落する局面を見せた。海外時間に入り、米国時間に発表された各種経済指標は市場予想対比良好な結果となったことや、引き続きFRB高官からのタカ派的な発言も散見されたことで、徐々に値を戻す動きに転じ一時134円半ばまで上昇するも上値追いの勢いに乏しく、結局133円台後半でクローズした。本日のドル円は底堅い展開を想定。明日の米国雇用統計を控える中で、本日については動意に乏しい展開がメインシナリオとみるが、昨今のドル円の調整局面が一巡したかどうかを見極めるには、時期尚早とも考えられ、局所的な円高水準に転換する警戒感を持ち合わせておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 綿引・小野崎